

*無法者でもなく、英雄でもなく
ひたむきに生き、鮮血と硝煙の中に
青春を散らした——男の名はビリー!

監督<名匠>サム・ペキンパー

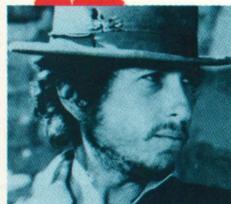


ビリー

Sam Peckinpah's
"PAT GARRETT AND BILLY THE KID"

■カラー作品 ■バナビジョン

21才の生涯



ジェームス・コバーン
クリス・クリストファーソン

ボブ・ディラン

リタ・クーリッジ
ジェイソン・ロバース
リチャード・ジュール

製作ゴードン・キャロル
音楽・歌ボブ・ディラン
主題曲CBS・ソニーレコード
MGM映画提供





PAT GARRETT
AND
BILLY THE KID

スタッフ

監督.....サム・ベキンパー
製作.....ゴードン・キャロル
脚本.....ルドルフ・ワーリッツァー
音楽.....ボブ・ディラン
撮影監督.....ジョン・コキロン

キャスト

バット・ギャレット.....ジェームス・コバーン
ビリー・ザ・キッド.....クリス・クリストファーソン
キップ・マッキニー.....リチャード・ジェイケル
エイリアス.....ボブ・ディラン
ベイカー夫人.....カティ・フラドー
レミユエル.....チル・ウィルズ
ウォレス知事.....ジェイソン・ロバーズ
ポー.....ジョン・ベック
マリア.....リタ・クーリッジ
アラモサ・ビル.....ジャック・イーラム
ブラック・ハリス.....L・Q・ジョーンズ
ベイカー.....スリム・ピケンズ

ビリー・ザ・キッド
—21才の生涯—

「ゲッターウェイ」のサム・ベキンパー監督は、西部劇でも第一人者で、ここでは二十一才の若さで死んだ稀代の無法者ビリー・ザ・キッドと、悪名高い一匹狼バット・ギャレットとの宿命の対決や男の友情を描いて、最後のアウトローと言われる彼独特のアクションとロマンチズムを満喫させてくれる。これは一八八一年のニュー・メキシコ・テリトリーが舞台である。当時の西部は、ようやくフロンティアの時代が終ろうとしていた。このニュー・メキシコでも開発と投資の気運が高まり、サンタフェ・リングと呼ばれる有力者のグループが、その気運にのってこのテリトリーを牛耳ろうとしていた。そこで彼らは、彼らのあくどいやり方に反発しているビリー・ザ・キッドら無法者グループをこの土地から除こうとし、悪名高い無法者バット・ギャレットをシエリフに起用した。

映画は、ビリーが、シエリフに任命されたギャレットから国外退去を警告されるところから、その警告を無視してギャレットに逮捕された彼が、リンカンの獄を脱走、これを追うギャレットにフォート・サムナーで射殺されるまでの三カ月間を描いている。もとは同じ無法者でも、追う者と追われる者、誰からも愛される人気者のビリーと、誰からも嫌われ恐れられるギャレット。しかも不思議な友情で結ばれている二人の、対照的な性格や生き方、共に時代の犠牲者であった彼らの宿命の対決が描かれる。冷徹で現実的なギャレットは、時代の変化を見抜き、身についた無法者の汚れを洗い落そうとしてシエリフになったが、さすがに親友ビリーを殺すにしのびない。国外に逃げてくれ、と願ったが、ビリーは逃げ出さない。自分の死所をわきまえ、純粋に無法者ビリー・ザ・キッドとして死ぬことを選んだ。ベキンパーは、この親友の宿命の悲劇を、空と荒野の無限の広がりの中に、深い哀惜の情をこめて描き出す。

出演者は、フォーク・ロックの人気歌手クリス・クリストファーソンがビリー・ザ・キッドを、ジェームス・コバーンが、保安官バット・ギャレットを演じ、彼らをめぐって、西部劇のベテランが多数出演する中で、フォーク・ソング界の第一人者ボブ・ディランが劇映画初出演するほか、音楽を担当し、自作のテーマ・ソングを歌う。また、クリストファーソンと噂の高い歌手リタ・クーリッジが、ビリーの愛人役で出演している。

(二時間四八分)

